

川 根 本 町

2026年10月号

図 書 室 だ よ り

10月

- ・文化会館図書室(小長井)
- ・山村開発センター図書室(上長尾)
- ・移動図書館車やまびこ号:川根本町内6コース
TEL:0547-59-3106(文化会館)
TEL:0547-56-2231(山村開発センター)

- ☆ 開室時間:午前9時～午後5時
- ☆ 休室日:月曜日・第3日曜日(18日)
祝日の翌日(13日)
- ☆ やまびこ号巡回6コース



かわねフォン、町のホームページでご確認いただけます。
なお、年間予定表は図書室で配布しています。

新着図書



「川根本町インターネット図書室」では
新刊の詳しい情報や 蔵書の検索が可能です。



川根本町
インターネット
図書室
ホームページ

ポイントが
ザクザク貯まる!



文

宝島社 編

さあ、
切り替えよう!



文

石川幹人 著
サンマーク出版

のび太は本当に
ダメな子?



山

横山泰行 著
アスコム

働くことの中にこそ
幸福がある



山

小玉歩 著
ずばる舎

※所蔵状況 文 文化会館図書室 山 山村開発センター図書室

秋をしよう

いろいろな秋の楽しみ方

食

旅

学

今月の特集

9月 山村開発センター図書室開催



◎ 新着図書



「川根本町インターネット図書室」では新刊の詳しい情報や蔵書の検索が可能です。

文化会館図書室所蔵	山村開発センター図書室所蔵
●『永遠の記憶』 東野圭吾 著 文藝春秋 内海薫が刺された。犯人は70歳ほどの老人。飛び降り自殺を図るも失敗し、取り調べには黙秘を貫く。やがて内海に恨みを抱く若い娘が捜査線上に浮かぶが、老人との関係は不明。それどころか、内海への本当の復讐はこれからだった。彼女が迫った「究極の選択」とは…。東野圭吾遺作。	●『夜想い』 住野よる 著 双葉社 一年間不登校だった中学生の始は、春から再び学校に通い出し、「星空中毒」という珍しい病気にかかった、高等部の遠山先輩に出会う。始は、遠山先輩の友人・ひまわりに勧誘され、星空中毒を観察する「空想研究会」へ入ることに…。研究会の活動をするうちに、始はかつて遠山先輩やひまわりと親しかった、今は亡き少年について知ることになる...
●『水上都市の冒険』 島田荘司 著 講談社 街のあちこちに出没する奇妙な人形の絵、火事現場に佇む少年、捨てられた大量の練り歯磨き…。高度成長期の横浜を揺るがす5つの難事件の謎を、少年御手洗が解く!	●『おにがわらう』 畠中恵 著 新潮社 最近の異変はすべて狐のせいと妙な噂が流れ、己まで人に襲われたと化け狐の赤月が若だんなに訴えてきた。その上寛朝の弟子・秋英は大怪我を負い、武家屋敷の下男が死体で発見された。若だんなと妖達にある疑念が生まれた矢先、新たな訪問者が……。凶事続きの通町に本物の鬼まで現れ「江戸を支配する」と言い出した!?
●『我らが音楽に祝福あれ』 瀧羽麻子 著 ポプラ社 教会で音楽の壮大さに魅了された佳和。トランペットに出会い音大へ進学するが、才能の限界を感じ、指揮者の勉強を始める。戦後から現代まで、音楽に人生を捧げた、一人の指揮者の軌跡。	●『傾斜のマリア』 恩田陸 著 双葉社 米国資本の大手製薬会社を辞め、フリーとなった神原恵弥は九州のN崎を訪れた。N崎出身の祖母が遺した不思議な数え唄の意味を探るためだ。だがそんな恵弥に対しN崎大学の医学教授が、米国の監視下に置かれている女性科学者への接触を求めてきた…。唄の歌詞「かたむくマリア」に込められた秘密とは?
●『埼玉マンション物語』 篠田節子 著 光文社 事故物件? 怪しい隣人? 謎の修繕積立金? ファミリータイプの分譲3LDKを長期ローンで購入した30代独身の小坂香織。ひょんなことから管理組合理事長に選ばれ、次々と持ち込まれる難題に四苦八苦。そして大事故寸前のトラブル発生。原因は、手抜き工事? 切実でちょっとおかしい近所トラブル狂騒曲。	●『おれのなまえは イッパイアッテナ』 齊藤洋 作 杉浦範茂 絵 講談社 イッパイアッテナがバルドルフと出会うまでの物語。



おすすめ図書

『何も起きない夜日記』 月と文社 編

「誰かにとっての日常は誰かにとっての安らぎになる」



文化会館
図書室所蔵

無名の人々の何も起きない地味すぎる夜……。主婦兼介護ヘルパー、カフェ店主、会社員などなど、17人それぞれの仕事から帰ってから過ごす日常の夜を綴ったエッセイ集です。

帰宅後のやるべきルーティン家事等を片付けた後、寝る前のほんの数時間。皆さんはどのように過ごしていますか? 何をしてもなく過ごす時間、ふいに思うことは何ですか?

SNSなどに投稿するようなハレの日ではなくて、何も特別な事が起こらない日。つまらないといえば、つまらないのですが、その反面で、何かが起こらない平凡さのありがたさをぼんやりとした幸福感の中で感じてみたり……。

普通の人が、それぞれの場所で、なんだかんだ精一杯に生きている日常の描写の中には不思議と救われるものがあります。

図書室スタッフS